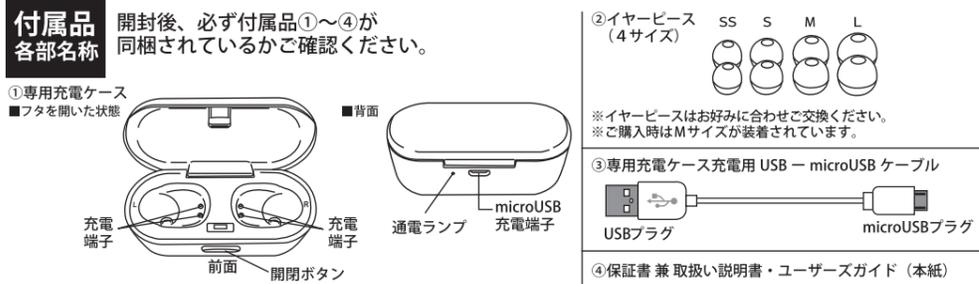
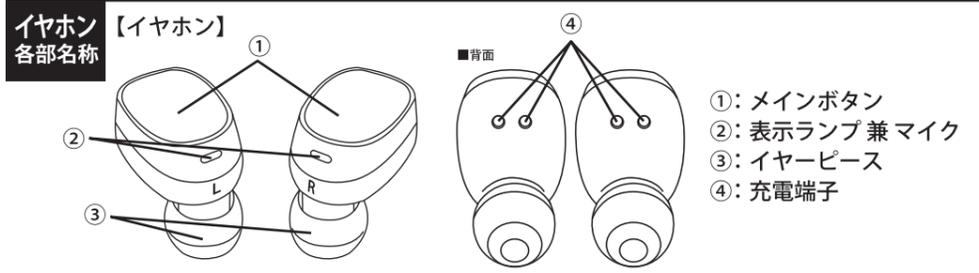


# 表：ユーザーズガイド

■本製品は Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。  
 ■本製品はハンズフリーまたはヘッドセットプロファイル※に対応している Bluetooth®無線技術を備えた機器に接続できます。  
 ※プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとの機能の規格

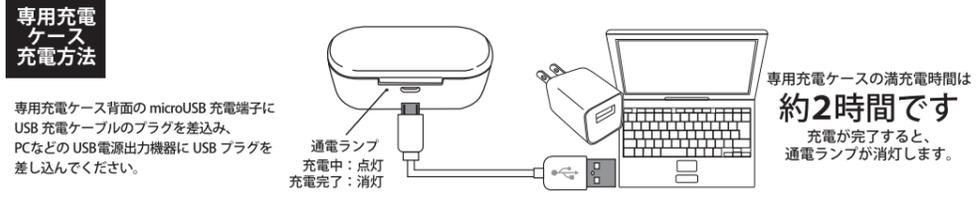
## High quality sound ユーザーズガイド 品番：NB-BES-100

ワイヤレスイヤホン 専用充電ケース付き



### 充電方法

初回使用前に、専用充電ケース・イヤホン充電してください。



### ペアリング手順

専用充電ケースを使用しながら、お手持ちの機器に簡単に初期登録することができます。

接続先機器により、設定方法や用語がそれぞれ異なります。また、機種によっては専用充電ケースを使用したペアリングができない場合もあります。あくまでも下記接続例は設定の参考とし、必ずお使いの接続機器の取扱説明書をご確認の上、設定してください。

①: イヤホンをお手持ちの機器のBluetooth設定画面にセットして、フタを完全に閉じて充電をします。  
 ●最初は満充電にしてください。満充電時間は約1時間です。

②: 接続機器側のBluetooth設定をONにしてください。  
 ●接続先機器のメニューリストなどから Bluetooth 設定画面を開いて、ONの状態にしてください。

③: 充電ケースのフタを開けるとイヤホンの電源がONになり、自動でペアリングモードになります。

④: 接続機器側のBluetooth設定に「EY-EP01R」が表示されたら選択してください。  
 ●Bluetooth 設定用番号「EY-EP01R」が表示されます。  
 ●「EY-EP01R」を選択し、登録をしてください。

⑤: 後は待つだけでペアリングが完了します。最初にR(右)がペアリングし、次にオートでL(左)がペアリングします。

！ペアリングする際は、イヤホンに触る必要はありません。

！ペアリング終了後、すぐに発信できますが、機種により携帯電話機の Bluetooth 画面から接続状態を「接続」「ON」などを選択しないと、Bluetooth 機能が使用できない場合もあります。ご使用の接続先機器の取扱説明書をご確認ください。

**【イヤホンのみを持ち歩いている場合のペアリング方法】**  
 ①: 左右それぞれのイヤホンのメインボタンを約2秒以上長押しして、電源をONにしてください。(「パワーオン」と音声がかかります)  
 ②: 左右のイヤホンの電源をONにした後、自動的にイヤホン同士のペアリングが完了します。  
 ③: 接続機器側の Bluetooth 設定をONにしてください。  
 ④: 右(R)のイヤホンの表示ランプが赤青交互に点滅を始めた後、ペアリングモード状態です。以下の手順は「専用充電ケースを使用しながらのペアリング」④からと同じになります。

**【片耳のみのペアリング方法】**  
 ①: 専用充電ケースから使用したいイヤホンのみを取り出して、使用しないイヤホンは専用充電ケースにセットしたまま、フタを完全に閉じて電源OFFの状態にしてください。  
 ②: 接続機器側の Bluetooth 設定をONにしてください。  
 ③: 使用したいイヤホンのメインボタンを約2秒以上長押しして、電源をONにしてください。表示ランプが赤青交互に点滅を始めた後、ペアリングモード状態です。  
 ④: 接続機器側の Bluetooth 設定に使用したいイヤホンの設定用番号※が表示されたらクリックをして、接続完了です。※右(R)「EY-EP01R」 左(L)「EY-EP01L」

**【電源をONにする】**  
 方法①: 専用充電ケースのフタが完全に閉じた状態から、フタを開けてイヤホンを取り出すと、表示ランプが青く3回点滅した後、自動的に電源ONになります。  
 方法②: イヤホンのみを持ち歩いている場合は、左右それぞれのイヤホンのメインボタンを約2秒以上長押ししてください。(「パワーオン」と音声がかかります) ※左右どちらかを操作していただければ、両方電源OFFになります。

**【電源をOFFにする】**  
 方法①: 専用充電ケースにイヤホンを入れてフタを完全に閉じると、表示ランプが赤く3回点滅した後、自動的に電源OFFになります。  
 方法②: イヤホンのみを持ち歩いている場合は、メインボタンを約2秒長押しすると、表示ランプが赤く3回点滅して、電源がOFFになります。(「パワーオフ」と音声がかかります) ※左右どちらかを操作していただければ、両方電源OFFになります。

**音楽を聴く**

**音楽の再生 / 停止** ※音楽の音量調整 / 曲送り / 曲戻しなどは、接続先(ペアリング)機器で操作してください。  
 ①: 本製品と接続先の機器が接続されているかご確認ください。 ②: まずは接続先(ペアリング)機器を操作して、聞きたい音楽を選択してください。  
 ③: 聞きたい音楽を選択後、メインボタンを1回押すと音楽再生されます。 ④もう1度メインボタンを押すと、音楽再生が停止されます。

**音楽の再生中に電話がかかってきた時** 音楽再生時に電話がかかってきた時は音楽が止まり、着信音が鳴りますので、メインボタンを押せば通話できます。通話が終了したら再度音楽再生が始まります。

**通話方法**

①: 電話を受ける  
 ヘッドセットから着信音が聞こえたら、イヤホンのメインボタンを1回押してください。

②: 通話を終了させる  
 通話状態でイヤホンのメインボタンを1回押してください。

③: 電話をかける  
 携帯電話から相手先に電話をかけてください。自動で切り替わります。  
 ※一部、自動で切り替わらない機種もあります。お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

**最後にかけた番号へのリダイヤル**  
 イヤホンのメインボタンを2回押してください。携帯電話に番号が表示され、発信されます。スピーカからピーピーという音が鳴り、リダイヤルというメッセージが聞こえます。

！: メインボタン操作・受話音について  
 左右両方使用中→右(R)のメインボタンを操作・受話音が聞こえます。  
 右のみ使用中→右(R)のメインボタンを操作・受話音が聞こえます。  
 左のみ使用中→左(L)のメインボタンを操作・受話音が聞こえます。  
 ※通話の場合は安全のため、右(R)もしくは左(L)のみのイヤホンでしか使用できません。

**【対応機種ごとの機能】**  
 詳細は、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご確認ください。  
**通話中に新しい着信に応答する**  
 例1) メインボタンを約2秒押すと、通話中の相手の通話を切り、新しい着信に応答します。  
 例2) ①: メインボタンを短く1回押すと、今の通話をいったん保留にし、新しい着信に応答します。  
 ②: さらにメインボタンを短く1回押すと、二つの通話が交互に切り替えることができます。

**【注意事項】**  
 障害物や壁がある場合や、携帯電話から5m以上離れた場合、音質が劣化することがあります。本製品と携帯電話をなるべく近いところで使用してください。

# 裏：取扱説明書

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書およびユーザーズガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 基本仕様

Bluetooth仕様	Ver.4.2	作動範囲	最大約10m (使用環境によって異なります)
連続通話	最大約2.8時間※1	対応プロファイル	HFP、HSP、A2DP、TWS、AVRCP
連続音楽再生	最大約2.5時間※1	A2DP対応コーデック	SBC、AAC
連続待機	最大約100時間※1	本体重量	左:約5g 右:約5g
使用温度	-10℃～50℃	外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	イヤホン: 23.5×17.1×22.4mm 専用充電ケース: 69×30×29.5mm

※1：使用環境や使用状況などによって異なります。

### 安全のために

安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。  
**●安全のための注意事項を守る：この「安全のために」** 注意事項をよくお読みください。  
**●定期的に点検する：**充電器のプラグ部とコンセントとの間に埃がたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。  
**●故障したら使わない：**動作がおかしくなったり、充電器などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店にご相談ください。  
**●万が一、異常が起きた場合、変な音・においがした場合、煙がでた場合は**  
 ①電源を切る  
 ②充電器で充電中の場合は、コンセントまたはシガーソケットから抜く  
 ③弊社またはお買い上げ店にご相談ください。

### 警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

<b>危険</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大怪我などの人身事故が生じます。
<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大怪我など人身事故の原因になります。
<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他事故により火傷や怪我をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 危険 下記の注意を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより、死亡や大怪我などの人身事故が生じます。

#### 【充電についての安全上のご注意】

- 接続端子をショートさせたり、逆充電をしないでください。また、接続ケーブルを使用される場合も、差し込み向きや形状などを必ず確認してください。接続機器が破損する場合があります。
- 濡れた手での操作や、水分がかかるような状況では絶対に使用しないでください。
- 投げたり、衝撃を与えたり、無理やり機器に接続しないでください。また、分解・改造などは絶対にしないでください。それらに起因する故障、トラブルについては一切の責任を負いかねます。
- 使用中、機器が熱くなったり、異臭や変形などの異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。
- 指定以外の充電器を使わない：充電するときは、必ず指定の充電器を使用してください。破裂や電池の液漏れ、加熱などにより、火災や怪我、周囲の汚損の原因となります。
- 本製品や付属品を、水の中や火の中に入れてください。
- 分解しない / 故障や感電の原因となります。内部の点検は、弊社またはお買い上げ店にご依頼ください。
- 火のそばや炎天下などで充電したり放置しない。
- 長時間使用しない場合、イヤホン専用充電ケースから取り出してください。

#### 【電池についての安全上のご注意】

- 液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。
- 充電式電池が液漏れしたとき：充電式電池の液が漏れたときは素手で液を絶対に触らない。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液体が衣服についたときも火傷や怪我の原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症や怪我の症状があるときには医師に相談をしてください。
  - 指定された充電器以外で充電しない。
  - 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
  - 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温場所での使用・保管・放置をしない。
  - コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
  - ショートさせない。
  - 本製品は内蔵型バッテリーを使用しています。製品を破損する恐れがありますので、専用充電ケースからバッテリーを取り外さないでください。

### 警告 下記の注意を守らないと、火災・感電などにより死亡や大怪我など人身事故の原因になります。

#### 【本製品についての安全上のご注意】

- 内部に水や異物を入れない：水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、充電器をコンセントから抜いて、お買い上げ店にご相談ください。
- 雷が鳴り出したら、充電用接点や電源プラグに触れない：感電の原因となります。
- ぬれた手で充電器を触らない：感電の原因となることがあります。
- 本体や充電器を布団などで覆った状態で使わない：熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

#### 【交通安全のために】

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故や怪我の原因となります。  
 ●運転中は本器および携帯電話を使用しない。  
 ●運転中に携帯電話画面を注視しない。  
 ●運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえない等危険な場所では、本製品は使わないでください。

#### 【機器認定について】

本製品は、電波法に基づく小電力データシステムの無線設備として、認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。  
 ●本製品を分解 / 改造すること

#### 【周波数について】

本製品は2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

#### 【本製品の使用上の注意事項】

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体通信用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。  
 ①本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。  
 ②万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。  
 この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてGFSK方式を採用し、与干渉距離は10mです。

### 注意 下記の注意を守らないと、感電やその他事故により火傷や怪我をしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

- ケーブルを引っ張ったり、無理な力を加えないでください。
- 指定電源以外では絶対に使用しないでください。
- 本製品を取り扱う際は、必ず本体プラスチック部分を持っておこなってください。接続機器やコードなどを強く引っ張ったり負担をかけたりしないでください。痛んだ場合は使用しないでください。また、使用後は必ず電源から抜いてください。
- 使用中に本製品が熱くなることがありますが、異常ではありません。あらかじめご了承ください。
- 使用機器の電池が古くなっていたり、故障している場合は充電できません。
- 炎天下や直射日光の当たる場所や、50℃以上・10℃の以下の所、ホコリ・振動・湿気や水分の多い場所では使用しないでください。
- 熱がこもりやすく放熱しにくい場所では使用しないでください。
- 使用しない時は、充電器本体を必ずコンセントから抜いてください。
- 幼児の手の届く場所、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 大音量で長時間続けて聞かすぎない。耳を刺激するよう大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。イヤホンにつないでいる機器によっては、ハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
- このイヤホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎてもわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは、音量を上げてしまいがちですが、イヤホンで聞くときは、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- はじめからボリュームを上げすぎない：突然音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

- 通電中の充電器や製品に長時間触れない：長時間皮膚が触れたままになっていると、低温火傷の原因になることがあります。
- かゆみなど違和感があったら使わない：イヤホンが肌に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して、医師またはお客様相談室、またはお買い上げ店にご相談ください。
- 本製品を航空機内で使わない：電波が影響を及ぼし誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 本製品を医療機器の近くで使わない：電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の扉内では使わないでください。
- 本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離すこと：電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない：電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 長時間使用しないときは、安全のため充電器をコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。
- 本製品は、国内専用です：海外では国によって電波使用で制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 長期間使用しないとき電池が放電されてしまい、充電できなくなってしまうます。3ヶ月に1度を目安に、定期的にフル充電を行ってください。

### 困ったときの解決方法

ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イヤホンの電源がOFFの状態から行ってください。</li> <li>●イヤホンのペアリングモード（LEDライトの赤と青の交互点滅）を確認してから、携帯電話での検索や登録を行ってください。</li> <li>●ペアリングは1m以内で行ってください。</li> <li>●携帯電話のBluetoothプロファイルを確認してください。異なるプロファイルではペアリングができません。（従来のプロファイルはHFP、HSP、A2DP、TWS、AVRCPです）</li> </ul>	雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続されている携帯電話が離れた所であれば、近いところに置いて試してみてください。</li> <li>●充電容量が少なくなっている可能性があります。</li> <li>●通信に干渉するような場所で通話している場合があります。</li> </ul>
イヤホンで通話できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ペアリングが正しく行われているか確認してください。</li> <li>●お使いの携帯電話の取扱説明書を読み、再度ペアリングをやり返してください。また、設定方法も合わせてご確認ください。</li> </ul>	通話相手に自分の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一部の携帯電話では、イヤホンのマイク入力を設定する必要がある機器がありますので、マイク入力を有効にしてください。</li> </ul>
電源をオンにしても何も聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イヤホンが充電されているか確認してください。</li> <li>●音量を調節してみてください。</li> </ul>	2台目のペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1台目のペアリング機器のBluetooth設定をOFFにしてから、設定をしてください。</li> </ul>
		音楽や通話の音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ペアリングを一度解除して、再度オートペアリングを行ってください。</li> </ul>

**保証書(1年)** お買上げシートと一緒に大切に保管してください。この保証書は正常な状態で起きた故障等に対し無償で交換することを保証するものです。取扱説明書に明記している使用方法や注意に反した故障は対象になりません。また、電話機等のメモリーの消失は対象になりませんので、予めご了承ください。

商品名	NB-BES-100 ワイヤレスイヤホン 専用充電ケース付き		
ご購入日	年	月	日
	販売店		

株式会社K-POINT